

平成28年度

大田原市の家計簿



平成28年度の大田原市の予算については、昨年度に引き続き、「知恵と愛のある協働互敬のまちづくり」をスローガンに、行政サービスの更なる向上の実現を目指し、「新大田原レインボープラン」に掲げる7項目の基本政策に沿って編成しました。

「大田原市の家計簿」は、この平成28年度の予算をもとに、皆さんに納めていただく税金や国・県からの支出金が、どのように使われるのか、どのような仕事にどのくらいお金が必要なのか、また、市の借入金(市債)や預金(基金)はどのくらいあるのかなど、大田原市の財政状況をお知らせするものです。

【目 次】

1 平成28年度の市の予算	1
2 平成28年度の一般会計予算	2
3 市民1人当たりの予算	4
4 平成28年度予算にみる1人当たりの経費	5
5 主な事業の予算	7
6 基金の状況	8
7 市債の状況	9
8 市債の残高	10
9 公債費の状況	11

1 平成28年度の市の予算

(1)一般会計

346億円

※ 皆さんからの税金を主な収入として市の大部分の仕事をまかっています。

(2)特別会計

188億1,501万円

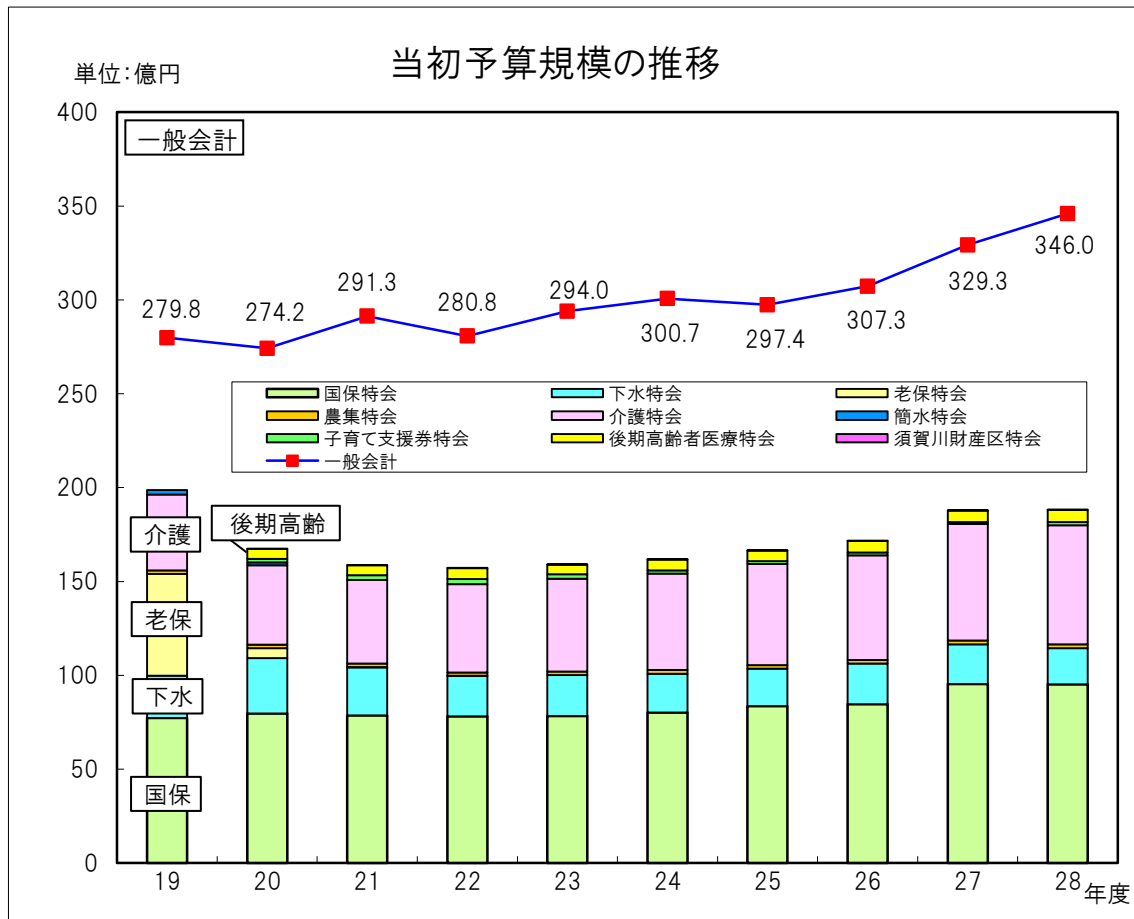
国民健康保険事業費	95億2,900万円
下水道事業	19億2,700万円
農業集落排水事業	2億120万円
介護保険	63億3,800万円
子育て支援券	1億6,350万円
後期高齢者医療	6億5,550万円
須賀川財産区	81万円

※ 特定の収入で特定の事業をまかっています。

(3)水道事業会計

22億9,500万円

※ 企業会計で経理されている会計です。



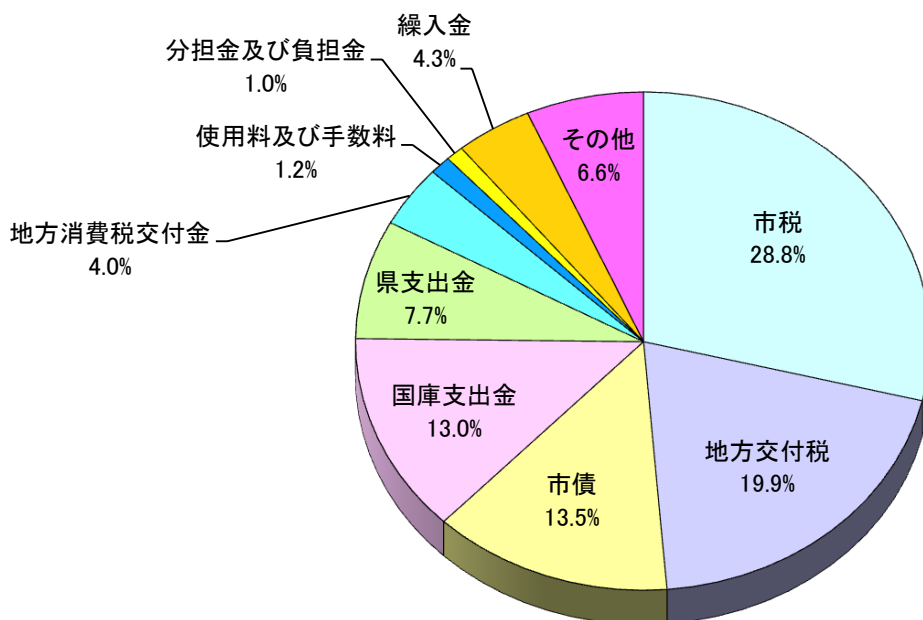
2 平成28年度の一般会計予算

一般会計には、市民の皆さんの日常生活に深く関わっている福祉、衛生、道路、教育などの仕事を行うための経費が計上されています。
平成28年度の予算は、346億円で、その内訳は以下のとおりです。

【歳入】

市 税	99億5,594万円	皆さんに納めていただく市民税(個人及び法人分)や固定資産税、都市計画税などの税金です。
地方交付税	69億円	全国の市町村が等しく事務ができるように、国税(所得税、法人税、酒税、消費税、地方法人税)の一定割合が、市町村の財政状況に応じ交付されます。
市 債	46億5,880万円	多額の資金を必要とする事業に対して、国や金融機関から借り入れるお金です。
(うち合併特例債)	(24億6,190万円)	合併市町村が利用できる有利な借入金です。
国庫支出金	44億9,748万円	道路の整備や学校の建設、社会福祉などの特定の事業に対して、国から支出されるお金です。
県支出金	26億7,482万円	特定の事業に対し県から支出されるお金です。
地方消費税交付金	14億円	消費税8%のうち1.7%が県の収入になり、その2分の1が市に交付されます。
使用料及び手数料	4億337万円	市営住宅などの使用料や住民票の交付手数料などです。
分担金及び負担金	3億5,649万円	他市町村からの負担金や、保育園児の保護者に負担していただくお金です。
繰入金	14億9,650万円	基金(預金)から一般会計に繰り入れるお金です。
その他	22億5,660万円	繰越金や財産収入、ふるさと寄附金などのお金です。

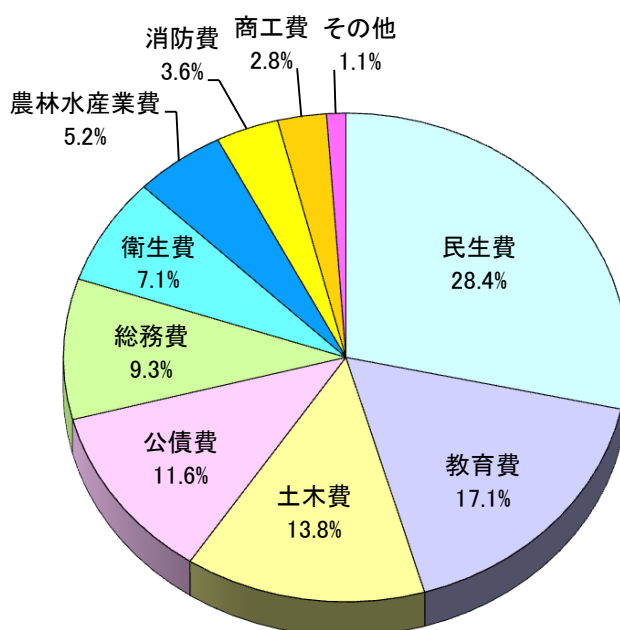
28年度一般会計歳入予算 346億円



【歳出】

民生費	98億2,144万円	高齢者や乳幼児、障害者などを援護する福祉向上のための経費です。
教育費	59億2,037万円	小・中学校の教育を充実させたり、文化・芸術、スポーツを盛んにしたりするための経費です。
土木費	47億6,789万円	道路や橋、河川、公園などの整備や維持管理を行うための経費です。
公債費	40億2,912万円	学校や道路、市営住宅などを建設するために借りたお金を返済するための経費です。
総務費	32億3,453万円	市役所の全般的な仕事や税金の賦課徴収、戸籍事務、選挙事務などの経費です。
衛生費	24億5,737万円	皆さんの健康を守ったり、ごみやし尿を処理するための経費です。
農林水産業費	17億8,252万円	農業や畜産業、林業などを盛んにするための経費です。
消防費	12億5,751万円	皆さんの生命や身体、財産を火災などの災害から守るための経費です。
商工費	9億8,040万円	商業や工業、観光などを盛んにするための経費です。
その他	3億4,885万円	議会費や労働費、災害復旧費などの経費です。

28年度一般会計歳出予算 346億円



3 市民1人当たりの予算

一般会計の予算の総額346億円を、平成28年4月1日現在における住民基本台帳人口72,603人で除して、市民1人当たりの予算に換算すると47万6,564円になります。その使いみちの内訳は以下のとおりです。

【歳入】

市税	99億5,594万円	(1人当たり 13万7,128円)
市税以外のお金	246億4,406万円	(1人当たり 33万9,436円)

【歳出】

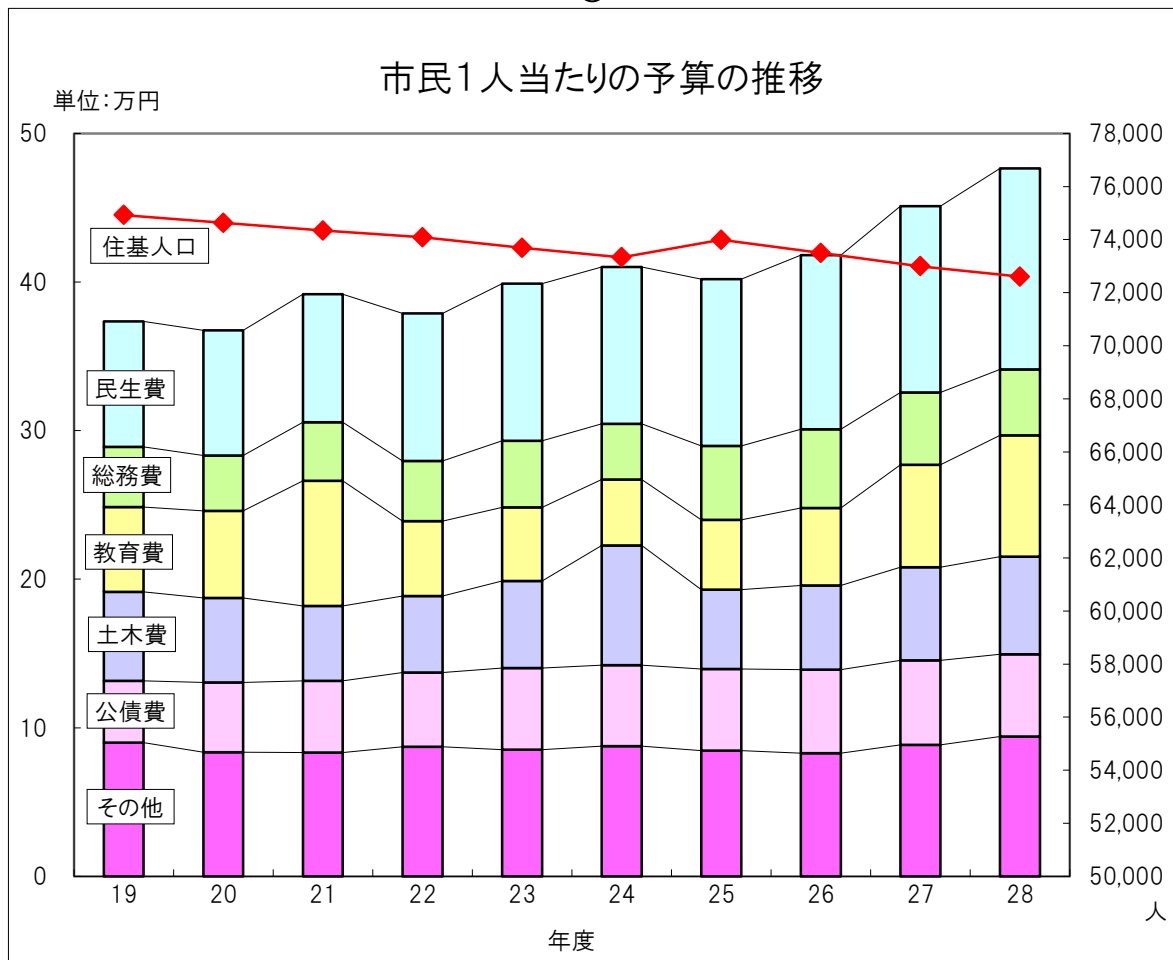
民生費	13万5,276円
教育費	8万1,544円
土木費	6万5,671円
公債費	5万5,495円
総務費	4万4,551円
衛生費	3万3,847円
農林水産業費	2万4,552円
消防費	1万7,320円
商工費	1万3,504円
その他	4,804円

1人当りに使われるお金

47万6,564円

(参考)

1人当たりの個人住民税	4万5,043円
1世帯当たりの市税	35万8,359円



4 平成28年度予算にみる1人当たりの経費

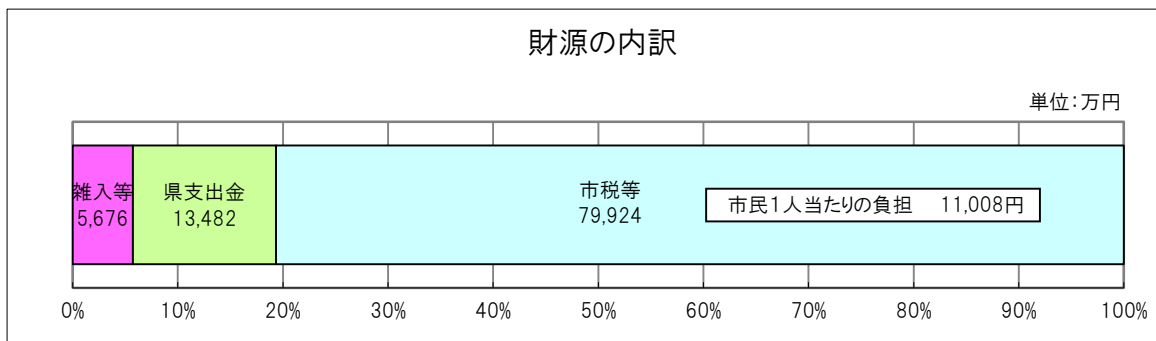
一般会計の予算のうちで、高齢者、保育園児、健康診査、ごみ処理及び小中学校児童生徒に要する1人当たりの経費については、以下のとおりです。

(1) 高齢者1人当たりの経費

5万2,039円

老人福祉費 9億9,082万円

65歳以上の人口 19,040人
(平成28年4月1日現在)



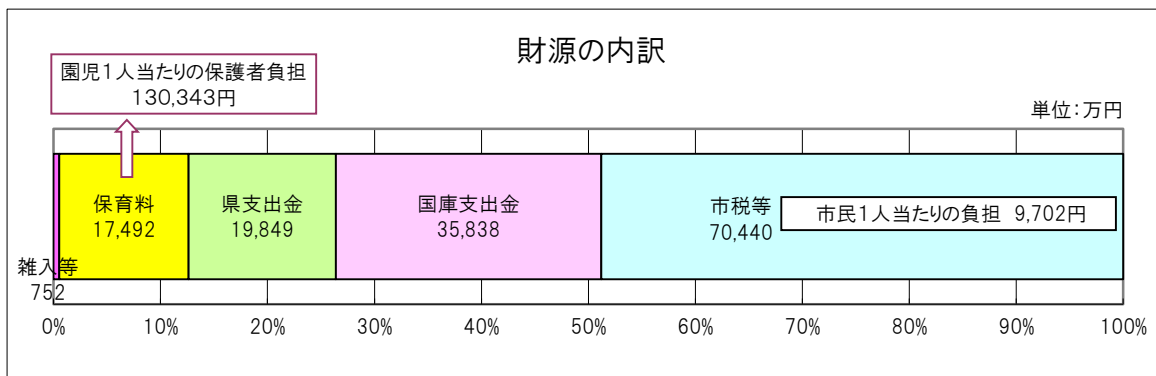
※ 介護保険に係る経費は含まれていません。

(2) 保育園児1人当たりの経費

107万5,790円

保育所費 14億4,371万円
(私立保育所運営費を含む)

園児数 1,342人
(平成28年4月1日現在)

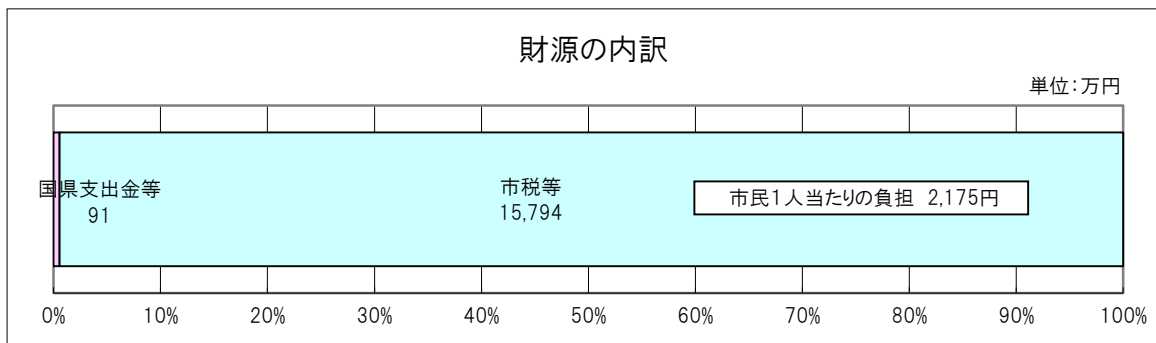


(3) 健康診査に係る国民健康保険被保険者(40~74歳)1人当たりの経費

1万670円

健康診査費 1億5,885万円

40歳から74歳までの国民健康保険被保険者数
14,888人
(平成28年4月1日現在)

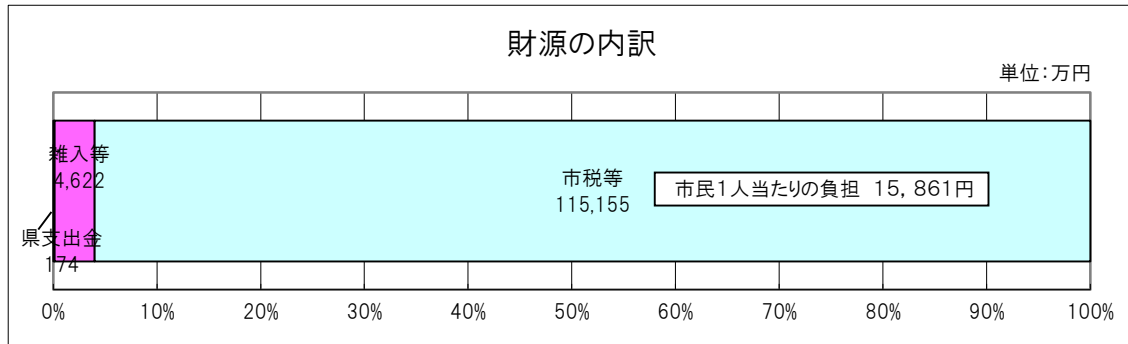


(4)ごみ処理に要する1人当たりの経費

1万6,521円

ごみ処理費 11億9,951万円

人口 72,603人
(平成28年4月1日現在)

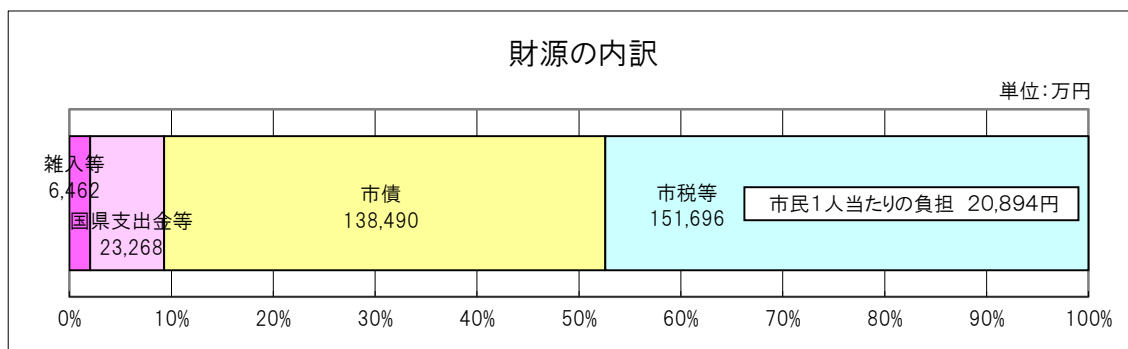


(5)小学生1人当たりの経費

85万6,765円

小学校費 31億9,916万円

小学校児童数 3,734人
(平成28年4月現在)

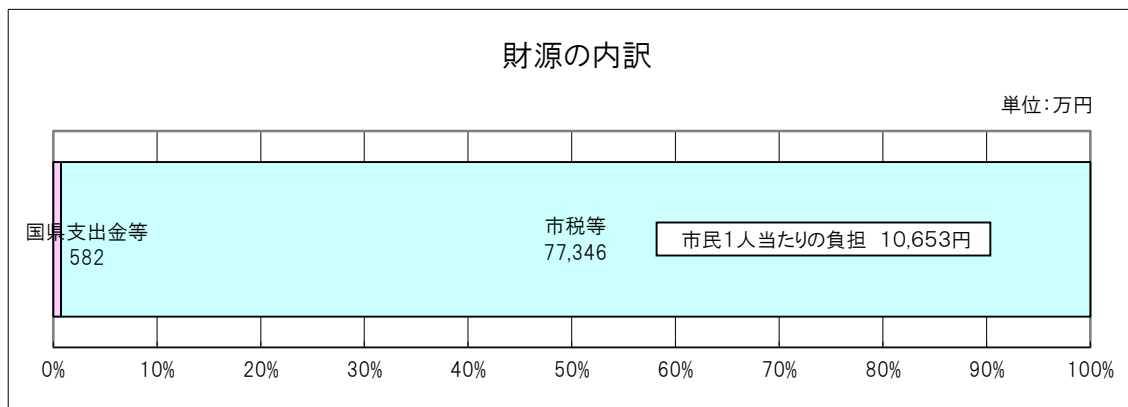


(6)中学生1人当たりの経費

37万7,193円

中学校費 7億7,928万円

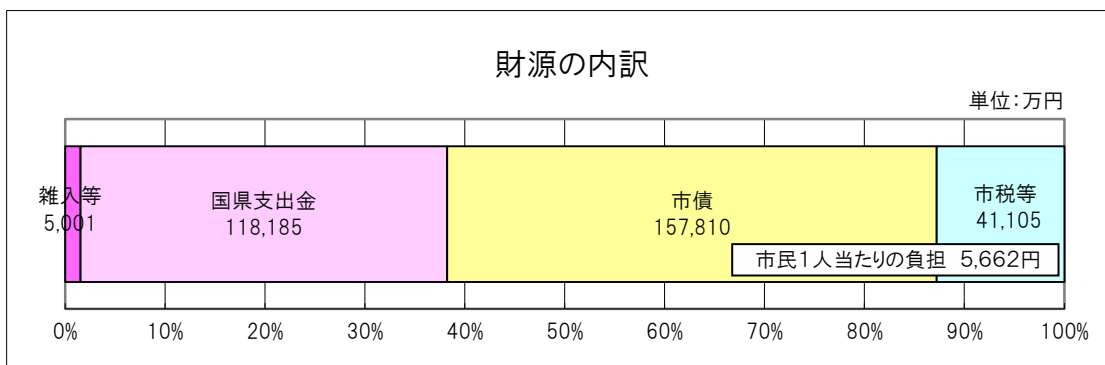
中学校生徒数 2,066人
(平成28年4月現在)



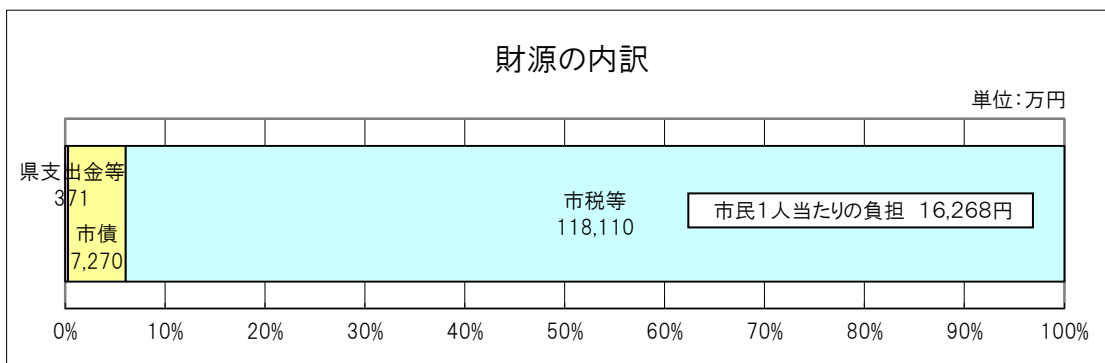
5 主な事業の予算

大田原市の予算のうちで、道路、消防、下水道に係る予算及びその内訳については、以下のとおりです。

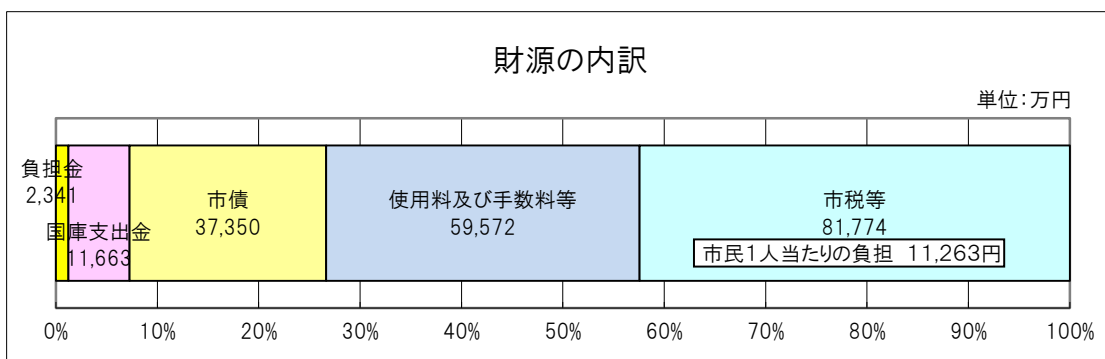
(1)道路	道路関係予算額	32億2,101万円
	(内訳) 道路維持	3億8,195万円
	新設改良	22億8,236万円
	街路	1億6,084万円
	大田原西地区都市再生整備事業(道路関係事業費のみ)	3億9,586万円



(2)消防	消防費予算額	12億5,751万円
-------	--------	------------



(3)下水道	下水道事業特別会計予算額	19億2,700万円
--------	--------------	------------



6 基金の状況

基金とは、特定目的のために準備された元手となる資金で、この資金を元手に預金や投資等の運用で得た収益を活用しながら、必要に応じて積立てや取崩しを行う財産です。
大田原市には、平成28年4月1日現在で20の基金があり、その内容は以下のとおりです。

財政調整基金	19億1,191万円	年度間のお金の調整を行い、健全な財政運営を行うための基金
減債基金	2億1,161万円	市で借りたお金の返済を計画的に行うための基金
土地開発基金	現金 2億2,155万円 土地 71,277㎡	施設などを建設するための土地をあらかじめ購入することで、その事業を進めやすくするための基金
奨学基金	1億1,859万円	高校生や大学生に対して奨学金の貸し付けをするための基金
あすなる基金	1億513万円	小学生や中学生の表彰と青少年の国内外の交流に関する事業を円滑に行うための基金
大学誘致基金	1,309万円	大学などの高等教育機関の誘致を進めるための基金
スクラム基金	6億5,028万円	高齢者などの生活を援助するための基金
スポーツ文化振興基金	9,379万円	皆さんのスポーツや芸術・文化を振興するための基金
子育て支援基金	4,819万円	明日を担う子どもを、安心して生み、健やかに育てるための基金
中山間地域農村環境保全基金	1,496万円	中山間地域の農村環境を形成する土地改良施設等の保全事業を実施するための基金
合併振興基金	現金 2,633万円 有価証券 14億7,507万円	合併後の市民の連帯の強化と地域の振興に必要な経費の財源に充てるための基金
国民健康保険財政調整基金	9億8,672万円	国民健康保険事業を適正に行うための基金
高額療養費資金貸付基金	現金 250万円 貸付金 750万円	一時期に多くの医療費を必要とする人に対して貸し付けをするための基金
介護保険財政調整基金	1億190万円	介護保険事業を健全に維持するための基金
高額介護サービス費貸付基金	100万円	多くの介護保険サービス費を必要とする人に対して貸付をするための基金
収入印紙等購入基金	現金 195万円 収入印紙等 205万円	収入印紙等を購入するための基金
公共施設整備等基金	10億106万円	公共施設の整備等に必要な経費の財源に充てるための基金
みどりと景観保全基金	3,150万円	豊かな自然環境や魅力的な景観を保全するための基金
結婚支援事業基金	710万円	地域活性化や定住促進などの観点から、独身男女の結婚を支援するための基金
須賀川財産区財政調整基金	1,618万円	財産区の健全な財政運営を行うための基金

※出納整理期間中(H28.4/1～5/31)に積み立てる予定のものを含んでいます。

7 市債の状況

市は、皆さんが納める税金を主な収入として、いろいろな仕事をしています。

そのなかで、学校や道路などは、皆さんの子どもの代まで利用できるものであり、その建設や工事にかかるお金も、それらを利用する住民の方にも負担していただくという考えで、一部に長期の借入れをしています。

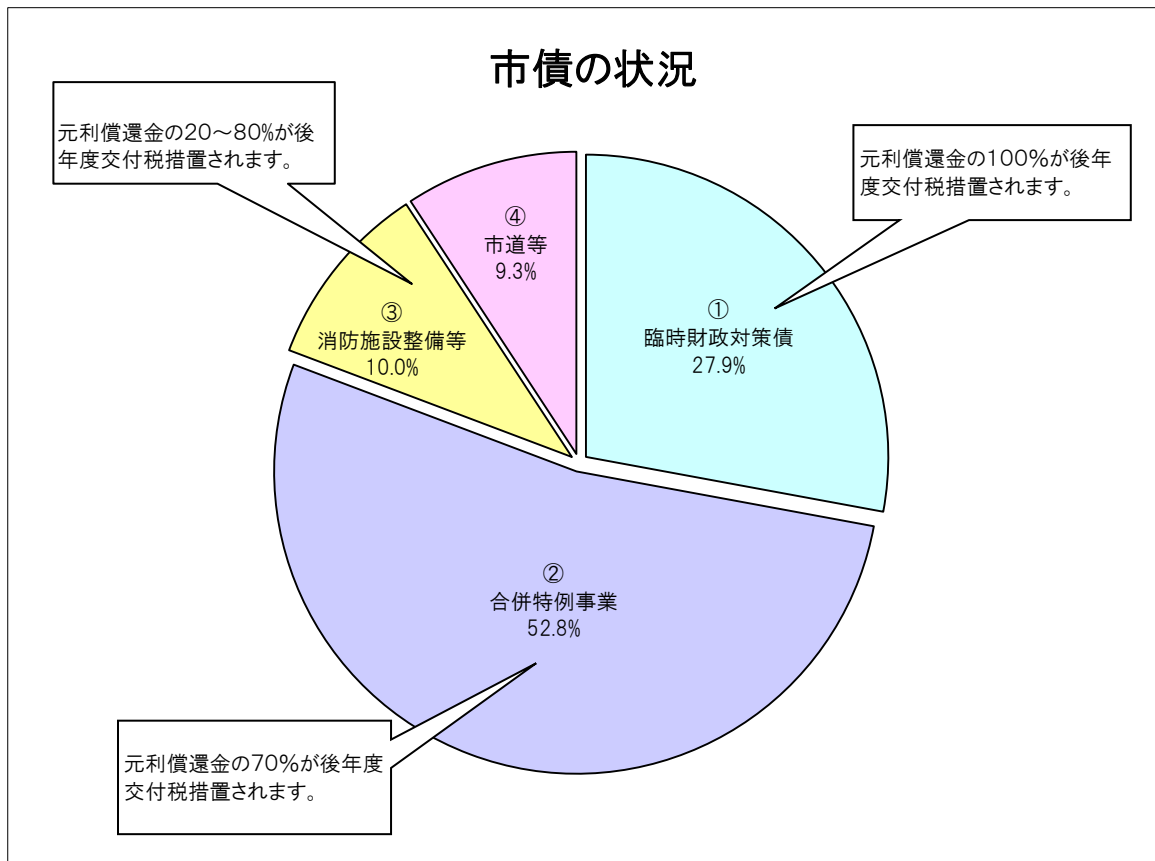
この借入金を市債といい、平成28年度は一般会計で46億5,880万円で、うち24億6,190万円が合併特例事業債という、合併市町村に有利なものを予定しています。

平成28年度の借入金を市民1人当たり換算すると6万4,168円になりますが、国の財源不足を補てんするために市が借入れる臨時財政対策債13億円を除くと(後年度、普通交付税で全額措置されるため)、市民1人当たりの実質的な負担額は、4万6,263円となります。

- | | |
|--------------|------------|
| ① 臨時財政対策債(注) | 13億円 |
| ② 合併特例事業 | 24億6,190万円 |

庁舎復興再整備事業、市道宇田川佐良土線ほか18路線の道路改良及び修繕事業、大田原西地区都市再生整備計画事業、大田原小学校・紫塚小学校校舎建築事業

- | | |
|-------------------------------------|-----------|
| ③ 消防施設整備・小学校教室棟改築・小学校プール整備事業等 | 4億6,660万円 |
| ④ 市道整備・那須野が原ハーモニーホール設備改修・認定こども園整備事業 | 4億3,030万円 |

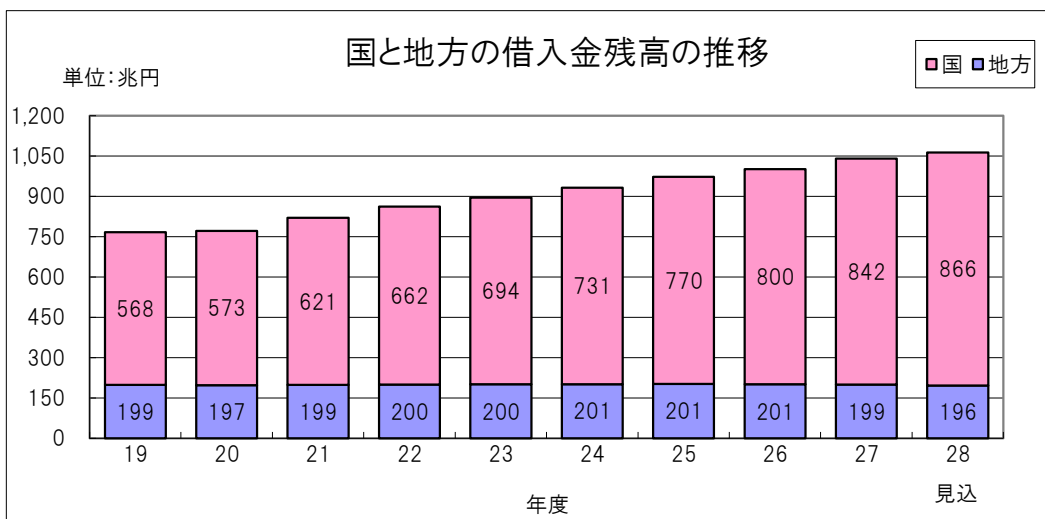
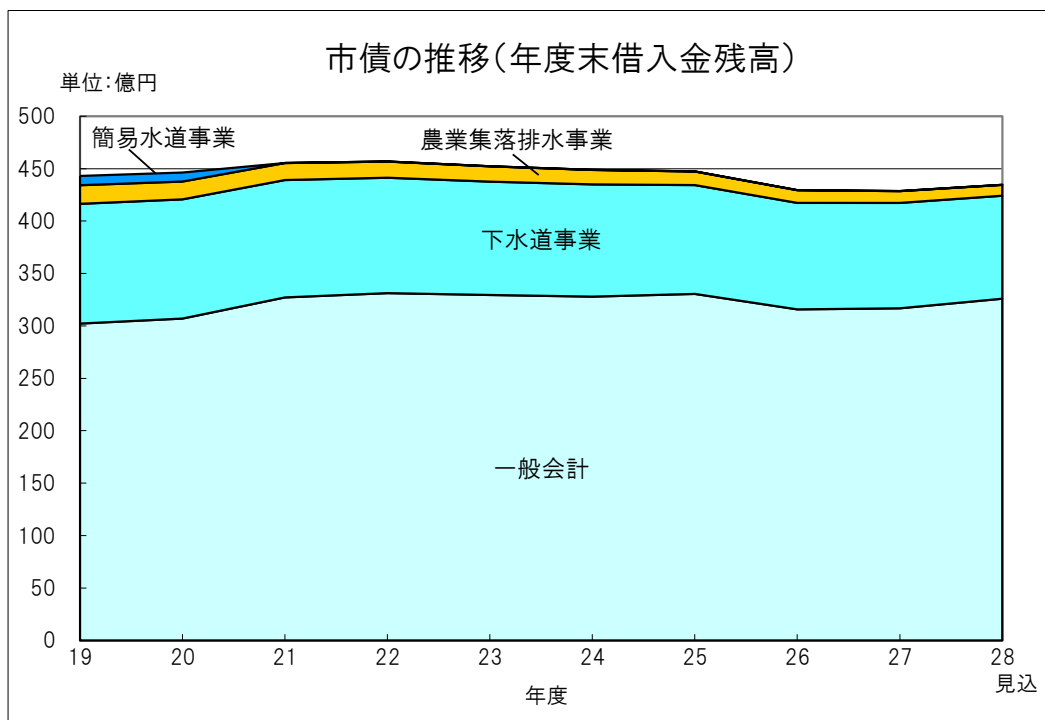
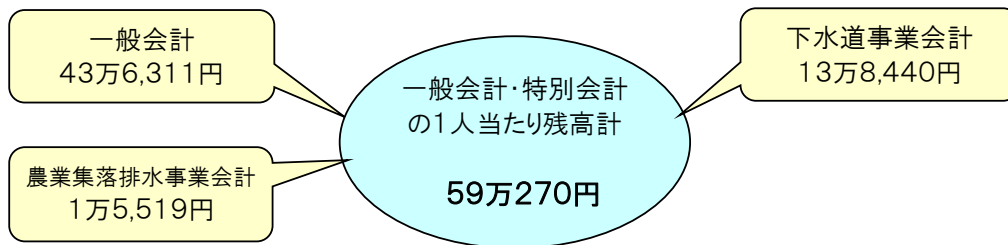


(注) 国税収入の減少による普通交付税の財源不足額を、それぞれの自治体が借り入れ補てんするものであり、後年度普通交付税で全額措置されます。

8 市債の残高

平成27年度末の一般会計における地方債の現在高は、316億7,747万円(うち臨時財政対策債を除くと168億593万円)となる見込みであり、市民1人当たりで換算した額は43万6,311円となりますが、後年度普通交付税で全額措置される臨時財政対策債の残高を除くと、実質的な市民1人当たりの市債残高は、23万1,477円となります。

一般会計、特別会計の1人当たりの地方債残高見込(水道事業会計を除く)

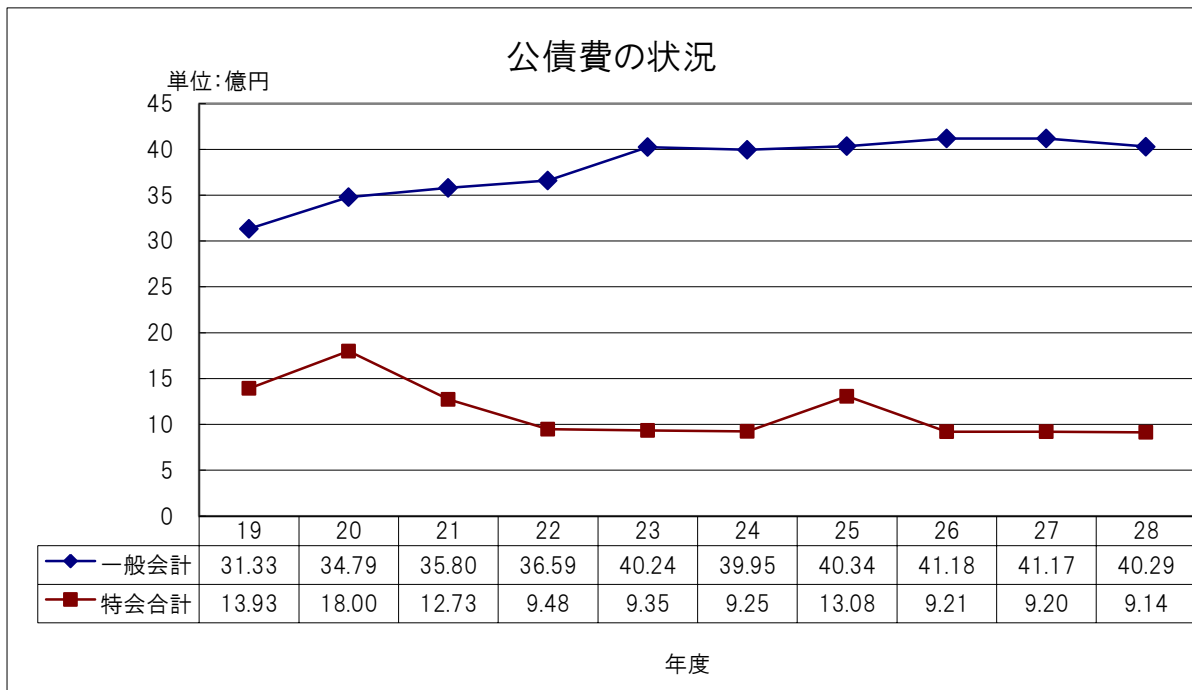
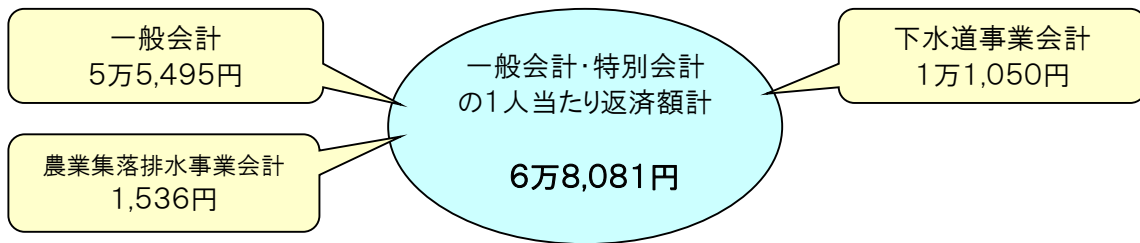


9 公債費の状況

市債は、借入年度では収入ですが、将来に渡り元金に利息をつけて返済していかなければなりません。この市債(借入金)の返済金を公債費といいます。

平成28年度の一般会計公債費は、40億2,912万円で、市民1人当たり換算した返済額は5万5,495円です。

一般会計、特別会計の1人当たりの返済額(水道事業会計を除く)



H19からH26までは実績、H27は決算見込、H28は予算計上額です。

※ 平成19年度から21年度までは国の補償金免除繰上償還を実施しています。これにより大幅な利子の軽減となりました。



与一の里
大田原

お問い合わせ先

大田原市財務部財政課財政係

TEL 0287-23-8797

E-mail zaisei@city.ohatawara.tochigi.jp